



2015年9月24日

各位

会社名 マックスバリュ東海株式会社
 代表者名 代表取締役社長 神尾啓治
 (コード番号: 8198 東証第二部)
 問合せ先 経営管理本部長 高橋 誠
 (TEL. 055-989-5050(代))
 当社の親会社 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田元也
 (コード番号: 8267 東証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2015年4月9日に公表した2016年2月期第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2016年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2015年3月1日~2015年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	109,000	1,320	1,280	120	6.75
今回修正予想 (B)	108,911	1,817	1,773	584	32.84
増減額 (B-A)	△89	497	493	464	
増減率 (%)	△0.1	37.7	38.5	386.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2015年2月期第2四半期)	103,931	1,216	1,256	424	23.87

(2) 2016年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2015年3月1日~2015年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	107,400	1,550	1,510	260	14.62
今回修正予想 (B)	107,319	2,089	2,052	751	42.23
増減額 (B-A)	△81	539	542	491	
増減率 (%)	△0.1	34.8	35.9	188.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2015年2月期第2四半期)	103,180	1,422	1,456	544	30.61

2. 修正の理由

第2四半期累計期間の個別業績につきましては、地域商品の拡販をはじめとした地域密着への取り組み強化に加え、消費二極化への対応や積極的な改装など商品及び営業面での取り組みを推進した結果、既存店の売上高は対前年同四半期比100.4%となり荒利率も堅調に推移いたしました。一方、販売費及び一般管理費につきましては継続的な経費削減効果により既存店ベースで昨年を下回る見通しであります。これらを主な押し上げ要因とし、連結業績におきましても営業利益、経常利益、四半期純利益が各々当初予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、お客さまの節約志向を反映した消費行動の変化など、今後の事業環境の先行きが依然として不透明な状況にあることなどから、連結及び個別業績ともに2015年4月9日に公表いたしました業績予想の修正はいたしません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上